

# 平成22年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ・ニセナシサビダニ（No.3）

平成22年6月15日  
鳥取県病害虫防除所

## 1. 情報の内容

6月中旬現在、ニセナシサビダニは平年並の発生密度となっている。

## 2. 情報の根拠

- (1) 6月中旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの1葉当たり個体数は937.2頭(平年：840.5頭)で、平年並の発生密度となっている(表1)。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、発生盛期は平年より1~2旬遅い6月下旬~7月上旬頃と見込まれる。

表1 ニセナシサビダニの発生活消長(園芸試験場)

月・旬	本年	平年
5・上	0.2	0.4
5・中	0	40.1
5・下	0.2	169.8
6・上	10.0	713.7
6・中	937.2	840.5
6・下		958.0

注) 殺ダニ剤無散布ほ場、1葉当たり寄生個体数

## 3. 防除上注意すべき事項

- (1) 第2回目の防除時期は、発生盛期の6月下旬頃を目安とする。薬剤はハチハチフロアブル2,000倍液などを使用し、本種が寄生している新梢先端部に薬液が十分付着するように散布する。

(参考)

表2 ニセナシサビダニの発生活消長(体系別)

月・旬	生育期	休眠期
	防除体系*	防除体系**
5・上	0	0
5・中	0	0
5・下	0	0
6・上	0.2	0.6
6・中	15.2	104.4
6・下		

\*春のマシン油散布なし、5月28日にハチハチフロアブル2,000倍液散布

\*\*3月17日にハーベストオイル50倍液散布、その後無散布

無処理区は急激に発生密度が増加したが、春のマシン油散布ならびに5月下旬にニセナシサビダニの防除を実施している場合は、6月中旬現在の発生密度は低いものと見込まれる。